

川南町立学校再編に関する座談会（第2回）

日 時 1月30日（月）午後7時から（唐瀬原中学校校区）
2月 6日（月）午後7時から（国光原中学校校区）
場 所 農村環境改善センター 多目的ホール

会 次 第

- 1 町長挨拶
- 2 教育の現状及び方向性について
- 3 教育関係の制度、基準等について
- 4 再編案シミュレーション等の説明
～ 10名程度のグループへ移動～
- 5 意見交換（グループワーク）
- 6 お礼の挨拶

1 町長挨拶

2 教育の現状及び方向性について（教育長）

3 教育関係の制度、基準等について

（１） 学級編制

宮崎県の学級編制基準

小 学 校		中 学 校	
1年生・2年生	30人	1年生	35人
3年生～6年生	40人	2年生・3年生	40人
複式学級 (1年生を含む場合)	2学年で8人	複式学級	2学年で8人
複式学級 (1年生を含まない場合)	2学年で16人		

国では小学校については1年生35人、2年生以上40人の編制を、中学校については40人編制を基準としていますが、宮崎県では運用により小学1・2年生については30人編制、中学1年生については35人編制です。ただし、国の基準と県独自基準の間の場合、学級を分けずに1学級に先生2人を配置するチームティーチング（TT）になる場合があります。

（２） 教員配置

学級数に応じて、必要となる学級担任、教科担任の教員数を考慮して、学校規模ごとに学級数に乗ずる率を設定(国の基準)しています。その他教員の加配等により教員の配置が決定します。

小 学 校		中 学 校	
1学級～2学級	×1.000	1学級	×4.000
3学級～4学級	×1.250	2学級	×3.000
5学級	×1.200	3学級	×2.667
6学級	×1.292	4学級	×2.000
・		5学級	×1.660
・		6学級以上	×1.750

(3) 学校施設の現状

	川南小	通山小	東小	多賀小	山本小	唐瀬原中	国光原中
建物面積	5,600 m ²	3,400 m ²	3,000 m ²	2,600 m ²	2,500 m ²	6,300 m ²	5,300 m ²
児童生徒数	455 人	204 人	125 人	92 人	54 人	292 人	191 人
建物経過年数	37.9 年	38.3 年	39.8 年	33.0 年	36.3 年	34.2 年	37.3 年

耐震化は全て完了しています。

エアコンは教室には未設置、トイレの洋式化は約 20%です。今後の大規模改修及び建替えの際は、エアコン設置及びトイレの洋式化の推進を検討する必要があります。

4 再編案シミュレーション等の説明

(1) 再編の際の条件等

ア スクールバス 学校再編する場合において、遠距離となる地域の児童生徒の登下校については、スクールバスを導入します。

イ 児童クラブ 小学校を再編した場合、再編校には児童クラブを設置します。

(2) 再編案シミュレーション

- 再編案の期間は、10 年間（平成 38 年度まで）とします。
- 再編案の学級編成（児童生徒数）は、10 年後の平成 38 年度をシミュレーションしたものです。
- 平成 28 年度生まれ以降の人数（平成 38 年度において小学生 1 年生～4 年生）は、平成 27 年度から 1 年あたり 1.8%減少で試算し、過去 5 年間の各校の児童数の割合で案分したものです。（しかしながら、平成 28 年度出生者数は、90 人を割り込む見込みです。）

案 1 再編しない（今後 10 年間）

平成 38 年度学級編制（児童生徒数）

学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
川南小学校	2 (52)	2(53)	2(54)	2(55)	2(65)	2(51)	12(330)
通山小学校	1(17)	1(17)	1(17)	1(18)	1(17)	1(20)	6(106)
東小学校	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(10)	1(16)	6(74)
多賀小学校	1(10)	1(10)	1(10)	(10) ●●	●● 複 1(6)	1(11)	5(57)
山本小学校	1(7) ●●	●● 1(8)	1(9)	1(9)	1(8)	1(9)	6(50)
計	6(98)	6(100)	6(102)	5(104)	6(106)	6(107)	35(617)
唐瀬原中学校	3(84)	3(87)	3(93)				9(264)
国光原中学校	2(41)	2(50)	2(53)				6(144)
計	5(125)	5(137)	5(146)				15(408)

合計 50 学級

多賀小学校の 4・5 年生は複式学級、山本小学校の 1・2 年生は平成 39 年度に複式学級

案2 中学校を1校に再編する（小学校は再編しない）。

- 両中学校を統合し、町の中央部に中学校を設置する。

平成38年度学級編制（児童生徒数）

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
川南小学校	2(52)	2(53)	2(54)	2(55)	2(65)	2(51)	12(330)
通山小学校	1(17)	1(17)	1(17)	1(18)	1(17)	1(20)	6(106)
東小学校	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(10)	1(16)	6(74)
多賀小学校	1(10)	1(10)	1(10)	(10) ●●	複1(6)	1(11)	5(57)
山本小学校	1(7) ●●	1(8)	1(9)	1(9)	1(8)	1(9)	6(50)
計	6(98)	6(100)	6(102)	5(104)	6(106)	6(107)	35(617)
中学校	4(125)	4(137)	4(146)				12(408)

合計 47学級

多賀小学校の4年生・5年生は複式学級、山本小学校の1・2年生は平成39年度に複式学級

案3 小学校2校、中学校1校に再編する。

- 唐瀬原中学校跡地に同中学校区域の小学校（A）を設置する。
- 国光原中学校跡地に同中学校区域の小学校（B）を設置する。
- 両中学校を統合し、町の中央部に中学校を設置する。

平成38年度学級編制（児童生徒数）

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学校A	3(64)	3(65)	2(66)	2(68)	2(73)	2(67)	14(403)
小学校B	1(34)TT	1(35)TT	1(36)	1(36)	1(33)	1(40)	6(214)
計	4(98)	4(100)	3(102)	3(104)	3(106)	3(107)	20(617)
中学校	4(125)	4(137)	4(146)				12(408)

合計 32学級

TTとは、1学級に先生2人を配置するチームティーチングのことです。

案4 小学校を1校、中学校を1校に再編する。

- 全小学校を統合し、町の中央部に小学校を設置する。
- 両中学校を統合し、町の中央部に中学校を設置する。

平成 38 年度学級編制（児童生徒数）

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学校	4(98)	4(100)	3(102)	3(104)	3(106)	3(107)	20(617)
中学校	4(125)	4(137)	4(146)				12(408)

合計 32 学級

案5 小・中一貫校（義務教育学校）2校に再編する。

唐瀬原中学校校区に同中学校区域を校区とする小・中一貫校（義務教育学校）Aを設置する。

国光原中学校校区に同中学校区域を校区とする小・中一貫校（義務教育学校）Bを設置する。

平成 38 年度学級編制（児童生徒数）

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	計
一貫校A	3(64)	3(65)	2(66)	2(68)	2(73)	2(67)	3(84)	3(87)	3(93)	23(667)
一貫校B	1(34) _{TT}	1(35) _{TT}	1(36)	1(36)	1(33)	1(40)	2(41)	2(50)	2(53)	12(358)
計	4(98)	4(100)	3(102)	3(104)	3(106)	3(107)	5(125)	5(137)	5(146)	

合計 35 学級

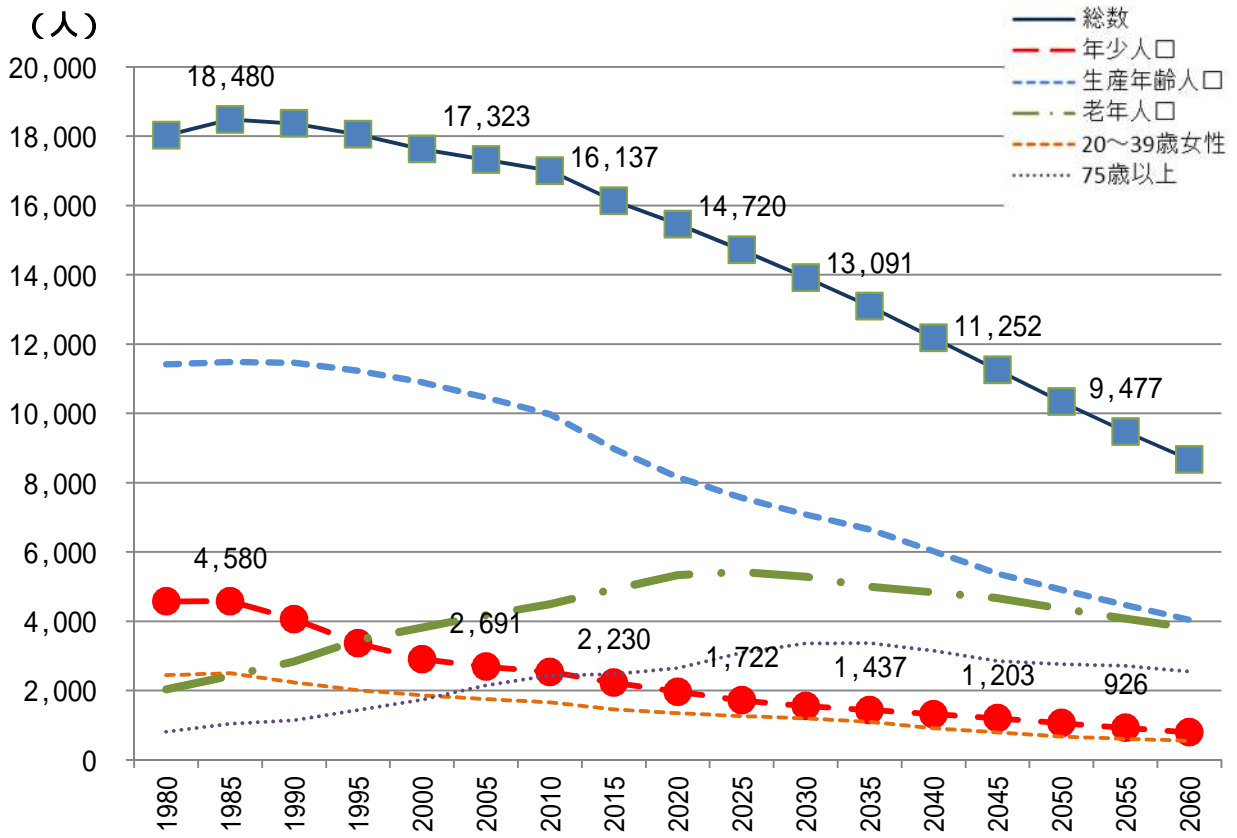
TTとは、1学級に先生2人を配置するチームティーチングのことです。

学校規模によるメリット・デメリット

中央教育審議会初等中等教育分科会資料（平成20年）

	小規模化		大規模化	
	メリット	デメリット	メリット	デメリット
学習面	児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。	集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい。	全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
	学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。	運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい。 児童・生徒数、教職員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りやすい。	学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。
		部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。	様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい。	
生活面	児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。 異学年間の縦の交流が生まれやすい。	クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。	クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。 切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。	学年内・異学年間の交流が不十分になりやすい。
	児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。	学校全体での組織的な指導体制を組みやすい。	全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
学校運営面	全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 学校が一体となって活動しやすい。	教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。 一人に複数の校務分掌が集中しやすい。 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。	教員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置を行いやすい。 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いやすい。 校務分掌を組織的に行いやすい。 出張、研修等に参加しやすい。	教職員相互の連絡調整が図りづらい。
	施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。	子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。	子ども一人あたりにかかる経費が小さくなりやすい。	特別教室や体育館等の施設・設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある。
その他	保護者や地域社会との連携が図りやすい。	PTA 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。	PTA 活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすい。	保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。

人口推計



小・中学校児童生徒数の推移

年度	川南小	通山小	東小	多賀小	山本小	小学校計	唐瀬原中	国光原中	中学校計
S56	835	364	275	195	196	1,865	483	371	854
S57	859	371	284	213	203	1,930	489	379	868
S58	864	384	308	221	219	1,996	484	379	863
S59	864	376	310	226	222	1,998	534	364	898
S60	869	364	302	232	227	1,994	570	369	939
S61	874	347	323	230	214	1,988	590	395	985
S62	852	335	310	226	204	1,927	589	397	986
S63	808	338	293	210	209	1,858	612	403	1,015
H1	791	314	286	201	198	1,790	633	392	1,025
H2	746	321	269	190	199	1,725	632	379	1,011
H3	710	325	254	187	179	1,655	621	363	984
H4	686	309	256	184	177	1,612	615	337	952
H5	671	295	246	183	191	1,586	596	321	917
H6	673	300	239	181	187	1,580	538	323	861
H7	639	285	212	182	175	1,493	509	316	825
H8	610	271	194	177	174	1,426	483	336	819
H9	595	266	184	169	168	1,382	479	327	806
H10	549	268	164	157	149	1,287	487	328	815
H11	512	268	153	143	122	1,198	483	306	789
H12	507	264	146	135	107	1,159	470	296	766
H13	502	282	147	129	106	1,166	392	276	668
H14	470	279	150	123	104	1,126	346	277	623
H15	485	280	158	114	100	1,137	321	268	589
H16	480	293	165	97	93	1,128	331	270	601
H17	502	289	169	92	92	1,144	314	269	583
H18	497	280	188	90	79	1,134	313	258	571
H19	504	270	186	90	66	1,116	299	272	571
H20	507	253	186	87	69	1,102	309	240	549
H21	505	245	172	83	70	1,075	317	238	555
H22	503	229	165	85	66	1,048	330	203	533
H23	482	222	148	90	65	1,007	346	216	562
H24	475	231	140	91	69	1,006	333	189	522
H25	476	220	141	91	62	990	312	202	514
H26	476	232	132	89	55	984	309	188	497
H27	472	221	131	97	52	973	307	201	508
H28	455	204	125	92	54	930	292	191	483

学校再編フローチャート

